

かけがえのない命のために、
たくさんの笑顔と出会うために

美しい自然と人の暮らしが響き合う。
まるでシンフォニーのように。
キッセイ薬品はこの信州で、
新薬の研究開発に取り組んでいます。

KISSEI
キッセイ薬品工業株式会社

<https://www.kissei.co.jp>

健康未来、創ります
日本新薬

新しい
生きるを、
創る。

独自技術で難病に挑み、
ひとりの「生きる」に希望をどける。
ユニークな機能性食品で、
みんなの「生きる」を健やかにする。
新しい時代の、新しい生きるを、
わたしたちは、創っていく。

なんとかしたい。
だから、挑む。

Sumitomo Pharma

健康と未来を守る 医薬品



「国立健康危機管理研究機構」の準備委員会の初会合であいさつする武見厚労相
(写真中央=東京・霞が関/1月末)

「日本版CDC」設立準備 新たな感染症に備え



厚労省はスタートアップの新たな支援策を検討

国内で新型コロナウイルスの感染が初めて確認されたから1月で4年が経過した。感染症法上の位置づけは5類に変更され、季節性インフルエンザなど他の感染症と同様の扱いに移行。国は患者や医療機関への公費での支援を縮小し、社会経済はかつての姿を取り戻している。

平時・有事を問わず指揮命令系統の一貫性が図られた組織体系の設計や、国内外の組織とのネットワーク構築のあり方について検討を進めることとしている。

2023年末、首相官邸で開かれた「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」で、村井英樹官房副長官が座長を務める「創薬力強化に向けた方策を議論する」部会が出席した。国民の医薬品へのアクセス確保や、国の創薬力強化に向けた方策を議論する。

日本は世界屈指の新薬創出国とされる一方、近年の創薬スタイルは世界的に変化を遂げている。新薬のモダリティ（製造する際の基盤技術）は低分子から抗体医薬・核酸医薬などに移行し、この結果、創薬スタイルもかつてのように自社で全て完結するビジネスモデルに替わり、開発早期から複数のプレーヤーと連携する「創薬エコシステム」に軸足が置かれつつある。こうした潮流を捉え、日本は強みである低分子の創薬力を維持しつつ、新たなモダリティの創薬力を早急に育成する喫緊の課題である。

厚労相の諮問機関である中央社会保険医療協議会の部会では、ドラッグ・ロスに陥っている医薬品



品は86品目としている。うち39品目は日本ではその病気に係る既存薬がないことが報告された。24年度薬価改定は一定の投資を早期に回収し、得られた収益を中長期的な視点で再投資に充てる。こうした循環を生み出す土壌を整え、革新的新薬への患者アクセス向上につながる。

1月末、「国立健康危機管理研究機構」の準備委員会の初会合が開かれた。同組織は「国立国際医療研究センター」と「国立感染症研究所」を統合し、25年度以降の設立を目指している。感染症への迅速な初動対応に加え、ワクチンや治療薬の早期開発につながる狙いだ。

厚労省はスタートアップの新たな支援策を検討

創薬力の強化や新たな感染症に備えた対応など、オールジャパンの取り組みが始動しつつある。イノベーションの原動力となる創薬エコシステムの構築に向けた民間の動きに歩調を合わせ、政府も成長戦略として推進すべく施策検討を急ぐ。世界有数の創薬国、世界一の病床大国である日本がその優位性を最大限に発揮し、国民が享受できる環境整備へ新たな潮流が生まれつつある。

創薬エコシステム

2023年末、首相官邸で開かれた「創薬力の向上により国民に最新の医薬品を迅速に届けるための構想会議」で、村井英樹官房副長官が座長を務める「創薬力強化に向けた方策を議論する」部会が出席した。国民の医薬品へのアクセス確保や、国の創薬力強化に向けた方策を議論する。

日本は世界屈指の新薬創出国とされる一方、近年の創薬スタイルは世界的に変化を遂げている。新薬のモダリティ（製造する際の基盤技術）は低分子から抗体医薬・核酸医薬などに移行し、この結果、創薬スタイルもかつてのように自社で全て完結するビジネスモデルに替わり、開発早期から複数のプレーヤーと連携する「創薬エコシステム」に軸足が置かれつつある。こうした潮流を捉え、日本は強みである低分子の創薬力を維持しつつ、新たなモダリティの創薬力を早急に育成する喫緊の課題である。

厚労相の諮問機関である中央社会保険医療協議会の部会では、ドラッグ・ロスに陥っている医薬品

スタートアップ成長後押し 開発投資循環、確立急ぐ

創薬エコシステムの機能を発揮するには、日本が世界中から技術や人的資源、資本を呼び込める魅力的な市場であることが欠かせない。それにはイノベーションの成果が適切に評価されることが前提となる。海外で使用されている薬が日本でも手できない「ドラッグ・ロス」は、国民の医薬品へのアクセス確保に直結する喫緊の課題である。

厚労相の諮問機関である中央社会保険医療協議会の部会では、ドラッグ・ロスに陥っている医薬品

本ではこれからの市場の特性や産業集積の美情を踏まえ、実現に向けて国も施策検討を加速させる。厚労省の「医薬品開発投資循環」の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」も創薬力の強化策として、創薬エコシステムの構築を掲げ、とりわけこの課題に大きな関心を示しており、23年秋の大臣就任直後の日刊工業新聞社などのインタビューでは、日本の創薬力強化へ向けスタートアップの成長を後押しするエコシステムの構築を重視する意向を表明。革新的な医薬品の研究開発を行うスタートアップをアカデミアや行政投資家、大企業が連携して支える環境整備を通じて、国際競争力の向上につなげる考えを示した。

年明けからは厚労省でヘルスケア分野のスタートアップの支援策の検討も始まった。医療DX（デジタル変革）や医療機器などの分野で、世界を舞台に活躍する企業を輩出することを目指す。

だが、感染の脅威が消えたわけではない。新型コロナウイルスは次々と変化を繰り返しながら流行を続け、現在は、オミクロン株の1種で「JN-1」と呼ばれる変異ウイルスが世界的に増加している。

コロナ禍は世界一の病床大国である日本でも医療が逼迫し、国産ワクチンの投入も遅れるといった構造的な課題も浮き彫りにした。これら教訓を踏まえ、新たな感染症の流行に備え、対応の司令塔となる専門家組織の設立準備も進む。米疾病対策センター(CDC)をモデルにした「日本版CDC」である。

新薬の扉を、
AIと
開く。

人間とは異なる発想で
抗体配列パターンを導き出す
「AI創薬」によって、
前例のない薬の開発に
取り組んでいます。

創造で、想像を超える。

CHUGAI 中外製薬
ロシュグループ

サイエンス。それは、希望。

薬だけでなく、その先の人を見つめる。「あの人に届けるために」。
その思いが、社員ひとりひとりの胸にある。
たとえば、さまざまながん治療に応用できるADC技術。
がん細胞を狙って攻撃し、「自分らしく生きる」治療を目指す。
サイエンスの力で、がん治療に、新しいあたりまえを。
わたしたちの1日は、誰かのかけがえのない日々につながっている。

イノベーションに情熱を。
ひとに思いやりを。

Daiichi-Sankyo

お任せください

社史・企業広報誌 社内報等の製作

社史の製作などでお困りの際はお気軽にお問い合わせください

多くの企業の取材に携わってきた日刊工業新聞社グループとしてのネットワークやノウハウを生かし、企画から取材・編集・印刷・製本・発送までサポートいたします。

日刊工業新聞グループ **新日本印刷なら**

ゼロからワンストップで

安心サポートいたします

企画立案 編集 校正
営業案内
取材 執筆 装丁
デザイン・レイアウト
印刷 製本 発送

新日本印刷グループは、企画提案からデザインレイアウト、印刷・製本・発送までのようなニーズにも丁寧かつ正確、スピーディーに対応致します。

新日本印刷株式会社 〒162-0801 東京都新宿区山吹町342 山吹町ビル
WWW.SINNIHON.NET 【営業】TEL 03-6265-3211 FAX 03-3269-6347

meiji

守るとは、挑むこと。

大切なものは、何ですか。
見のめる。支える。寄り添う。誓う。
大切なもののために、できることすべてを。

私たちがMeiji Seika ファルマは、ワクチンによる予防から抗菌薬による治療まで幅広いラインアップで、世界の感染症に挑み続けます。これからも、ずっと。

Meiji Seika ファルマ株式会社

届けたいの、
夢、希望、
いつもの日々。

もしものときも、
変わらない日常がつづくように。
新薬で、すこやかな未来を届けたい。

Only Ono

小野にしかできない挑戦がある。

ONO 小野薬品工業株式会社



エーザイのAD治療薬「レケンビ」（一般名「レカナメブ」）

医薬品 最前線

加齢関連疾患—高まる治療ニーズ

高齢化社会の進行に伴い、加齢に関連した疾患の治療ニーズが高まる。こうした中、脳神経疾患や眼科領域などで新薬の実用化が進む。進行性でこれまで治療法がなかった疾患について、疾患の根本に働きかける医薬品の開発が進み、患者の新たな治療選択肢となることが期待される。製薬企業は自動化技術の導入にも積極的な投資を進め、新薬開発や生産の効率化にも乗り出す。最先端の技術で革新的な新薬の開発につなげる。

世界初、アルツハイマー抑える

エーザイのアルツハイマー病（AD）治療薬「レカナメブ」が実用化された。2023年7月に米国、同年9月に日本で承認を取得。これまで疾患に伴う症状を抑える治療薬はあったが、疾患の根本に働きかけ進行を抑制する治療薬は世界初となる。米メカファーマ（巨大製薬会社）のイーライリリーも同領域で治療薬の承認申請をしており、AD治療は転換点を迎えている。

レカナメブはAD型認知症患者を対象とした治療薬で、脳内に蓄積して病気の原因になるとみられるたんぱく質「アミロイドベータ（β）」を除去する効果が期待される。これにより病気の進行を平均約3年遅らせることが推定される。

レカナメブのような画期的な医薬品の市場浸透について、エーザイの内藤晴夫最高経営責任者（CEO）は「一既に市場がある医薬品とは戦略が異なる。医療関係者と協力しながらマーケットを作り上げるため、パイオニアとしての役割を担う」と意気込みを述べている。

眼科治療薬—欧米で攻勢

アステラス製薬は眼科領域を強化する。同社は23年5月に米国で承認された「イズベリ」を開発し、欧米で攻勢を仕掛けた。同社は、米国で承認された「イズベリ」を開発し、欧米で攻勢を仕掛けた。同社は、米国で承認された「イズベリ」を開発し、欧米で攻勢を仕掛けた。



イズベリ（izervay）の承認は、アステラス製薬が欧米で攻勢を仕掛けた。同社は、米国で承認された「イズベリ」を開発し、欧米で攻勢を仕掛けた。

新薬開発拠点、横浜で稼働

抗体医薬品の新薬開発拠点を、横浜に稼働させる。同拠点は、抗体医薬品の新薬開発に特化した設備を整え、研究開発の効率化を図る。また、自動化技術の導入により、生産性の向上も目指している。



抗体医薬品の新薬開発拠点を、横浜に稼働させる。同拠点は、抗体医薬品の新薬開発に特化した設備を整え、研究開発の効率化を図る。

また、ADが疑われる患者への普及するための課題は、医師への啓蒙や患者への説明などがある。エーザイは、医師への啓蒙活動や患者への説明会を開催し、治療薬の認知度を高めることを目指している。

また、ADが疑われる患者への普及するための課題は、医師への啓蒙や患者への説明などがある。エーザイは、医師への啓蒙活動や患者への説明会を開催し、治療薬の認知度を高めることを目指している。

Eisai

hike human health care

患者様の想いを見つめて、薬は生まれる。

顕微鏡を覗く日も、薬をお届けする日も、見つめています。
病氣とたたかう人の、言葉にできない痛みや不安。生きることへの希望。
私たちは、医師のように普段からお会いすることはできませんが、そのぶん、患者様の想いにならぬ向き合いたいと思います。
治療を続けるその人を、勇気づける存在であるために。
病氣を見つめるだけではなく、想いを見つめて、薬は生まれる。
「ヒューマン・ヘルスケア」、それが、私たちの原点です。

ヒューマン・ヘルスケア企業 エーザイ

エーザイはWHOのリンパ系フィラリア病予防活動を支援しています。

選択肢をつくる。
希望をつくる。

なんでも選べるこの時代に、
まだ選択肢が足りない世界があります。
そこでは、たったひとつの選択肢が生まれることが、
たくさんの希望につながります。
だから、田辺三菱製薬はつくります。
病と向き合うすべての人に、希望ある選択肢を。

この国でいちばん長く培ってきた
薬づくりの力を生かして、
さまざまな分野で、挑みつけていきます。
そこに待っている人がいるかぎり。

田辺三菱製薬
https://www.mt-pharma.co.jp/

MITSUBISHI CHEMICAL GROUP

明日の健康をめざして

私たち扶桑薬品工業は1937年の創業以来、輸液や透析液など必須医薬品の開発を中心に地道な努力を重ねてまいりました。これからも生命関連産業に携わる一員として、たゆむことなく真摯にその本分を尽くしてまいります。

www.fuso-pharm.co.jp

扶桑薬品工業株式会社

本社 / 大阪市中央区道修町1丁目7番10号 本社事務所 / 大阪市東区森之宮2丁目3番11号



アスクレピオス
古代ギリシアで疫病を撃退した医神。その神に形を付けたのは、医学・医療の象徴とされている。

ALL in ONE MANUFACTURING

中分子医薬品原薬のCDMOサービスは日本触媒におまかせください。
non-GMPからGMPまであらゆるニーズに対応します。



臨床 GMP 上市 GMP
非臨床 non-GMP
探索研究 non-GMP
中分子(カリウムイオン)原薬の提供
自給法・プロセス開発
分所法開発

日本触媒

詳細はWEBで

JIS試験用ふるい&ふるい振盪機の専門メーカー

ES-65型の特徴

- 1.ロータップ型の運動状態を応用しておりますので効率が高いです。
- 2.最小内径75mmのふるいまで使用出来ます。
- 3.小型で研究室から研究室への移動が容易に出来ますので、使用して頂く研究室相互間で兼用出来て経済的です。

実用新案型ふるい
金網と枠部が一体構造になっています。

株式会社 飯田製作所 URL <https://www.iida-ss.com/>



医薬品産業

疾患啓発・安定供給への取り組み



抗 菌 剤

安定供給体制構築急ぐ 原薬国産化、岐阜に製造拠点

Meiji Seika (東京都中央区、小林大吉郎社長) は、抗菌剤の国内生産に挑む。ペニシリン系抗生物質の出発原料「6-APA」について、同社岐阜工場において2025年にも国内で大量生産できる体制を構築する。大量生産可能な設備に加え、生産効率化の技術導入に取り組み、抗菌剤の国内生産拠点を特定する。政府も抗菌剤を特定重要物資に指定するなど、見直しを進める。

Meiji Seika は、既存の設備や当時の技術者のノウハウを生かして、海外の安価な原薬や製品の流通で国内製品の収益性は低下し、抗菌剤生産や開発は衰退

Meiji Seika ファルマの岐阜工場は現在抗菌剤の生産拠点として稼働しているが、1994年までは6-APAを生産していた。しかし、海外の安価な原薬や製品の流通で国内製品の収益性は低下し、抗菌剤生産や開発は衰退

Meiji Seika ファルマ (岐阜工場の大型発酵槽)

疾患啓発

周囲のサポート体制重要 治療の継続・社会生活維持カギ

英製薬企業グラクソスミスクラインは全身性エリテマトーデス (SLE) の疾患啓発に力を入れる。市民公開講座を開き、ライフステージごと疾患と向き合っていくかについて疾患への理解を呼びかける。

SLEとは、免疫機能の異常により起る自己免疫性疾患の一種で、顔にチオワのような形の湿疹ができるなど皮膚に特徴的な病変が起きる。他にも発熱、リンパ腫、関節炎、腎臓病、心臓病、肺病、神経障害、血液障害、甲状腺障害、糖尿病、高血圧、骨質減少症、網膜病変、認知症、がんなど、多岐にわたる合併症を引き起こす。

「思春期SLE」では、疲労や抑うつといった症状や、薬の付き合ひ方、日常生活や将来への不安、家族や友人などの関係に苦悩を抱くという。こうした不安をいかに向き合っていくかが重要だ。鹿児島大学の武井修治名誉教授は「思春期は心身共に著しい成長の時期。患者に対

や倦怠感、また関節の痛みなど多様な症状のほか、身体に自覚しにくい影響があらわれることがある。SLEは完治が難しく、治療が長期化するため、進歩や就職、妊娠や出産などのライフイベントに影響を及ぼすことも多いという。

例えば、18歳未満で発症する「思春期SLE」では、疲労や抑うつといった症状や、薬の付き合ひ方、日常生活や将来への不安、家族や友人などの関係に苦悩を抱くという。こうした不安をいかに向き合っていくかが重要だ。鹿児島大学の武井修治名誉教授は「思春期は心身共に著しい成長の時期。患者に対

治療の継続と社会生活維持カギとして、治療の継続と社会生活維持へのサポートが重要だ」と訴える。

また妊娠・出産を希望する患者は、治療や薬を調整するといった準備が必要となる。胎児への影響や合併症のリスクを減らすために時間をかけて薬を変更することで、より安全な妊娠と出産を目指す。またパートナーと一緒に医師の話を聞くことで理解を深め、周囲のサポート体制を築くことも重要だ。

治療が難しいSLEだが、疾患啓発を通じて、患者だけでなく家族や周囲の人も理解を深め、病気に向き合っていくことが、QOL向上につながる。

医薬品メーカーは国内の医療を支えるため、さまざまな挑戦を続ける。医療に欠かすことができない医薬品だが、近年は供給不安の課題が浮上る。また、希少疾患や小児患者を対象とした治療薬は限られており、治療選択肢をいかに提供するかも解決が求められる。医療を安心して受けられる体制を構築するため、製薬企業は疾患の啓発や医薬品の開発、また安定した製造体制の構築に取り組む。

Meiji Seika (東京都中央区、小林大吉郎社長) は、抗菌剤の国内生産に挑む。ペニシリン系抗生物質の出発原料「6-APA」について、同社岐阜工場において2025年にも国内で大量生産できる体制を構築する。大量生産可能な設備に加え、生産効率化の技術導入に取り組み、抗菌剤の国内生産拠点を特定する。政府も抗菌剤を特定重要物資に指定するなど、見直しを進める。

Meiji Seika は、既存の設備や当時の技術者のノウハウを生かして、海外の安価な原薬や製品の流通で国内製品の収益性は低下し、抗菌剤生産や開発は衰退

Meiji Seika ファルマ (岐阜工場の大型発酵槽)

Meiji Seika (東京都中央区、小林大吉郎社長) は、抗菌剤の国内生産に挑む。ペニシリン系抗生物質の出発原料「6-APA」について、同社岐阜工場において2025年にも国内で大量生産できる体制を構築する。大量生産可能な設備に加え、生産効率化の技術導入に取り組み、抗菌剤の国内生産拠点を特定する。政府も抗菌剤を特定重要物資に指定するなど、見直しを進める。

Meiji Seika は、既存の設備や当時の技術者のノウハウを生かして、海外の安価な原薬や製品の流通で国内製品の収益性は低下し、抗菌剤生産や開発は衰退

Meiji Seika ファルマ (岐阜工場の大型発酵槽)


小児患者

より患者に合った治療 子どもの学校生活—有意義に

杏林製薬は過活動膀胱治療薬「ベオバ」について、小児を対象とした臨床試験を進める。過活動膀胱とは、昼間の尿失禁や我慢できないほどの強い尿意といった症状が見られる疾患。小児では15~20%に症状があるとされる。しかし、国内では小児への適応がある医療品は少ない。杏林製薬は小児を対象に開発を進める「ベオバ」は、膀胱に尿をためる機能を改善する作用を持つ。現在、安全性を確認する第1相臨床試験を実施中。開発者の野村貴久課長は「臨床試験の参加基準を満たす患者を集めるのは簡単ではない。小児を対象とした試験は難しいチャレンジだが、小児患者のためにしっかりエビデンスを構築したい」と強調する。

強い尿意や尿失禁は、子どもの学校生活に大きな不安をもたらす。受けられる治療の選択肢が増えることで、小児の過活動膀胱患者の生活の質(QOL)改善が期待される。有意義な学校生活を送ることもつながる。

杏林製薬の過活動膀胱治療薬「ベオバ」



健康づくりは幸せづくり

病気になると自分で懸命に治ろうとする体。そんな健気で優しいあなたの体の声に耳を澄まして

薬を研究・開発してきたゼリア新薬。

消化器系を中心とした医療用医薬品から

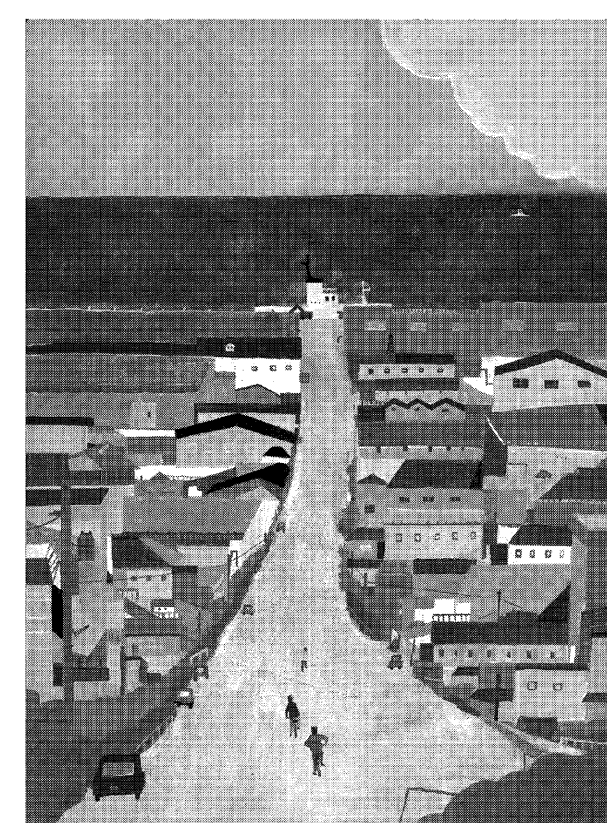
コンドイチンをはじめとする

コンシューマーヘルスケア事業まで。

すべての人に健康でいきいきと生活してほしいという願いは

今、さまざまな取り組みとなって広がっています。

ゼリア新薬工業株式会社 www.zeria.co.jp



PHCbi TwinGuard ECO

デュアル冷却システム*搭載 ノンフロン薬用冷蔵ショーケース

MPR-S1201XH-PJ (1165L) メーカー希望小売価格 1,150,000円 (税・据込)

PHC株式会社
バイオメディカル事業部
〒105-8433 東京都港区西新橋2丁目38番5号

北海道営業所 TEL 03-4363-2211 FAX 011-251-3760
東北営業所 TEL 022-266-2131 FAX 022-215-5582
関東営業所 TEL 03-5408-7277 FAX 03-5408-0973
関西営業所 TEL 045-978-5134 FAX 045-978-5150
中部営業所 TEL 052-211-8880 FAX 052-211-8882
近畿営業所 TEL 06-6136-1415 FAX 06-6136-1449
中国営業所 TEL 082-247-7532 FAX 082-240-2701
九州営業所 TEL 092-222-7719 FAX 092-291-5353

信頼と実績で 5年保証

パイオニアクリーン環境機器

あらゆるニーズにパイオニア精神で挑戦します。

靴または作業衣を殺菌・乾燥

クリーンロッカーサハラ

ウイルス対策 ●PAT製品●

- 風扇ファンと紫外線殺菌ランプの効果で、靴または作業衣の殺菌、乾燥を同時に行います。
- オゾン発生装置や超高性能濾過器をオプションで取り付け可能です。

靴底を空気でキレイに

エア吸着マット

工場や事務所の通路、エアシャワーの中に ●PAT製品●

マット

ブラシで掻き出しエアで吸引

- 設置もメンテナンスも簡単
- 安全にも配慮

靴底の汚れは瞬時に集塵ユニットへ回収されます。

オーダーメイド対応

洗浄型パスボックス

「通箱」クリーニング

高速空気噴流でゴミ・異物を吹き飛ばす

特殊ノズル(PAT)で袋物にも対応可能

営業品目 クリーンルームダスター・シューズクリーナー・クリーンエアーカーテン・空気清浄機・エア吸着マット

株式会社 パイオニア 風力機

本社・工場 〒458-0847 名古屋市長区津島3-2-5 (052) 892-8859 FAX (052) 892-8803
東京営業所 〒226-0026 横浜市西区十日町1-5 (045) 882-5905 FAX (045) 882-5216
九州営業所 〒879-1504 大分県速見郡日出町2929-3 (0977) 72-9301 FAX (0977) 72-0239
大阪営業所 〒982-0841 仙台市太白区山三丁目1-10 (022) 217-8620 FAX (022) 217-8621
E-mail/info@paonia.co.jp URL/http://www.paonia.co.jp/

愛知ブランド企業認定 愛知県 認定番号 508 2020年4月1日~2025年3月31日